

2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月15日

上場会社名 ヒーハイト精工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6433 URL <http://www.hephaist.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 浩太
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 佐々木 宏行 (TEL) 049-273-7000
 定時株主総会開催予定日 2019年6月26日 配当支払開始予定日 2019年6月27日
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日~2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	2,750	4.8	177	△21.0	177	△24.5	111	△32.7
2018年3月期	2,623	19.2	225	54.6	234	75.4	166	97.6

(注) 包括利益 2019年3月期 104百万円(△38.5%) 2018年3月期 170百万円(106.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	17.80	—	3.4	3.6	6.5
2018年3月期	26.66	—	5.2	5.0	8.6

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 — 百万円 2018年3月期 — 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	4,893	3,374	69.0	534.58
2018年3月期	4,935	3,264	66.1	523.09

(参考) 自己資本 2019年3月期 3,374百万円 2018年3月期 3,264百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	254	△211	△199	951
2018年3月期	422	△211	△50	1,112

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00	24	15.0	0.8
2019年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00	25	22.5	0.8
2020年3月期 (予想)	—	0.00	—	4.00	4.00			

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,265	△9.1	73	△41.0	73	△40.1	41	△48.7	6.61
通 期	2,603	△5.3	178	0.5	178	0.7	115	3.6	18.44

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期	6,316,700株	2018年3月期	6,245,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期	3,984株	2018年3月期	3,983株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	6,289,143株	2018年3月期	6,241,048株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	2,731	6.2	174	△14.7	173	△18.6	109	△26.0
2018年3月期	2,571	19.6	204	65.7	213	90.8	147	105.9
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年3月期	17.40		—					
2018年3月期	23.71		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
2019年3月期	4,858		3,343		68.8	529.65
2018年3月期	4,894		3,231		66.0	517.79

(参考) 自己資本 2019年3月期 3,343百万円 2018年3月期 3,231百万円

2. 2020年3月期の個別業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,245	△10.3	70	△40.2	39	△49.0	6.27
通期	2,582	△5.5	177	2.2	115	5.4	18.35

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用及び個人消費の改善や、省人化を中心とした設備投資の増加が続いてきましたが、年度後半における海外景気の減速の影響により、先行きへの不透明感が高まりました。中国においては、米中貿易摩擦の激化による輸出減少、設備投資の落ち込み等により、景気は減速しました。

このような状況のもと、当社グループは「不易流行」を経営方針に掲げ、経営理念等のいつまでも変化しない本質的な「不易」に、時代や環境に合わせて変えるべき「流行」を取り入れて行き、設備投資等により生産性向上に取り組んで参りました。

この結果、当連結会計年度の売上高は2,750,151千円（前連結会計年度比4.8%増）となりましたが、納期対応のために人件費や外注加工費が増加し、また、修繕費等の増加もあり、利益面では経常利益は177,274千円（前連結会計年度比24.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は111,975千円（前連結会計年度比32.7%減）となりました。

主力製品であります直動機器につきましては、産業用機械向けの需要増加の機会を捉えて受注対応に尽力してきましたが、半導体業界向け等の製品が減少したことにより、当連結会計年度の売上高は1,617,105千円と前連結会計年度と比べ11,650千円の減少（前連結会計年度比0.7%減）となりました。

精密部品加工につきましては、レース用部品を中心に顧客からの高精度化や短納期の要望に応え続けたことで売上が増加し、売上高は847,569千円と前連結会計年度と比べ118,039千円の増加（前連結会計年度比16.2%増）となりました。

ユニット製品につきましては、中国の液晶工場向けの減速はあったものの、国内企業向けに販売を伸ばし、売上高は285,476千円と前連結会計年度と比べ19,788千円の増加（前連結会計年度比7.4%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は4,893,619千円となり、前連結会計年度末と比べ42,252千円の減少となりました。主な要因は、たな卸資産96,000千円、機械装置及び運搬具35,498千円の増加に対し、現金及び預金161,060千円の減少によるものであります。

負債は1,518,948千円となり、前連結会計年度末と比べ152,318千円の減少となりました。主な要因は、仕入債務45,497千円の増加に対し、長期借入金147,516千円の減少によるものであります。

純資産は3,374,671千円となり、前連結会計年度末と比べ110,065千円の増加となりました。主な要因は、資本金15,057千円、資本剰余金15,057千円、利益剰余金87,011千円の増加によるものであります。その結果、当連結会計年度末における自己資本比率は69.0%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、951,565千円となり、前連結会計年度末と比べ161,060千円の減少となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前当期純利益175,907千円その他、減価償却費148,369千円、仕入債務の増加額49,298千円による資金の増加に対し、たな卸資産の増加額97,793千円による資金の減少により、得られた資金は254,249千円（前連結会計年度は422,226千円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出189,194千円により、使用した資金は211,497千円（前連結会計年度は211,998千円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入金の返済による支出147,516千円及びリース債務返済による支出26,702千円による資金の減少により、使用した資金は199,020千円（前連結会計年度は50,469千円の支出）となりました。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率(%)	71.6	74.0	68.5	66.1	69.0
時価ベースの自己資本比率(%)	34.0	34.8	33.6	84.1	38.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	6.4	2.8	1.9	1.3	1.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	16.1	28.3	60.8	104.4	64.7

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、中国経済の減速や米国政策の影響による輸出の低迷、原材料価格の上昇、労働力不足、消費税増税による経済への悪影響も懸念される一方で、長期的には中国におけるディスプレイ分野の成長、東京オリンピックや大阪万博に関連した需要、IoTやAIの進展による省人化や合理化の設備投資の期待もあると予想されます。

このような状況のなか、次期の連結業績見通しにつきましては、売上高2,603百万円(前期比5.3%減)、営業利益178百万円(前期比0.5%増)、経常利益178百万円(前期比0.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益115百万円(前期比3.6%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRSにつきましては、今後も制度動向等を注視して参ります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,112,626	951,565
受取手形及び売掛金	363,371	368,058
電子記録債権	458,935	414,931
商品及び製品	135,136	168,805
仕掛品	446,598	483,844
原材料及び貯蔵品	169,634	194,720
その他	23,001	46,094
流動資産合計	2,709,303	2,628,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,843,317	1,846,300
減価償却累計額	△1,204,683	△1,244,548
建物及び構築物(純額)	638,634	601,751
機械装置及び運搬具	1,200,045	1,229,697
減価償却累計額	△936,083	△930,237
機械装置及び運搬具(純額)	263,961	299,459
工具、器具及び備品	268,913	306,812
減価償却累計額	△235,404	△253,486
工具、器具及び備品(純額)	33,508	53,326
土地	1,063,504	1,063,504
リース資産	125,869	153,869
減価償却累計額	△84,220	△112,135
リース資産(純額)	41,649	41,734
建設仮勘定	7,623	3,412
有形固定資産合計	2,048,881	2,063,189
無形固定資産	20,423	17,852
投資その他の資産		
保険積立金	99,827	120,922
繰延税金資産	49,121	55,197
その他	8,314	8,438
投資その他の資産合計	157,264	184,559
固定資産合計	2,226,569	2,265,600
資産合計	4,935,872	4,893,619

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	500,176	545,502
電子記録債務	164,664	164,835
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	147,516	147,749
リース債務	19,985	21,637
未払金	96,385	76,105
未払法人税等	58,000	43,824
賞与引当金	25,401	24,994
役員賞与引当金	13,000	—
営業外支払手形	59,742	10,787
その他	48,073	71,902
流動負債合計	1,162,943	1,137,338
固定負債		
長期借入金	318,110	170,361
リース債務	22,917	22,563
役員退職慰労引当金	103,688	115,040
退職給付に係る負債	63,606	72,046
その他	—	1,598
固定負債合計	508,322	381,609
負債合計	1,671,266	1,518,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	717,495	732,552
資本剰余金	664,455	679,512
利益剰余金	1,870,689	1,957,701
自己株式	△715	△716
株主資本合計	3,251,924	3,369,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,551	△95
為替換算調整勘定	10,130	5,717
その他の包括利益累計額合計	12,682	5,622
純資産合計	3,264,606	3,374,671
負債純資産合計	4,935,872	4,893,619

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	2,623,973	2,750,151
売上原価	1,895,073	2,059,027
売上総利益	728,900	691,124
販売費及び一般管理費	503,574	513,144
営業利益	225,326	177,979
営業外収益		
受取利息	339	439
有価証券利息	812	458
補助金収入	9,877	4,814
受取手数料	926	4,305
廃材売却収入	406	805
その他	1,234	670
営業外収益合計	13,597	11,492
営業外費用		
支払利息	4,161	3,871
為替差損	—	8,322
その他	8	3
営業外費用合計	4,169	12,197
経常利益	234,753	177,274
特別利益		
固定資産売却益	313	67
特別利益合計	313	67
特別損失		
固定資産売却損	12	—
固定資産除却損	2,190	1,434
特別損失合計	2,202	1,434
税金等調整前当期純利益	232,863	175,907
法人税、住民税及び事業税	65,972	68,836
法人税等調整額	488	△4,904
法人税等合計	66,460	63,932
当期純利益	166,402	111,975
親会社株主に帰属する当期純利益	166,402	111,975

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	166,402	111,975
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,337	△2,647
為替換算調整勘定	2,880	△4,412
その他の包括利益合計	4,217	△7,060
包括利益	170,619	104,915
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	170,619	104,915

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	717,495	664,455	1,716,769	△687	3,098,031	1,214	7,250	8,464	3,106,496
当期変動額									
剰余金の配当			△12,482		△12,482				△12,482
親会社株主に帰属する当期純利益			166,402		166,402				166,402
自己株式の取得				△27	△27				△27
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						1,337	2,880	4,217	4,217
当期変動額合計	—	—	153,920	△27	153,892	1,337	2,880	4,217	158,109
当期末残高	717,495	664,455	1,870,689	△715	3,251,924	2,551	10,130	12,682	3,264,606

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	717,495	664,455	1,870,689	△715	3,251,924	2,551	10,130	12,682	3,264,606
当期変動額									
譲渡制限付株式報酬	15,057	15,057			30,114				30,114
剰余金の配当			△24,964		△24,964				△24,964
親会社株主に帰属する当期純利益			111,975		111,975				111,975
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△2,647	△4,412	△7,060	△7,060
当期変動額合計	15,057	15,057	87,011	△0	117,125	△2,647	△4,412	△7,060	110,065
当期末残高	732,552	679,512	1,957,701	△716	3,369,049	△95	5,717	5,622	3,374,671

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	232,863	175,907
減価償却費	118,479	148,369
株式報酬費用	—	11,292
受取利息及び受取配当金	△1,184	△932
補助金収入	△9,877	△4,814
支払利息	4,161	3,871
有形固定資産売却損益 (△は益)	△300	△67
有形固定資産除却損	2,190	1,434
売上債権の増減額 (△は増加)	9,735	37,809
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△54,271	△97,793
仕入債務の増減額 (△は減少)	151,971	49,298
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,735	△281
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10,816	11,351
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,000	△13,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△5,384	8,440
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△6,638	△8,268
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△7,315	13,604
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△568	△210
その他	8,009	3,214
小計	459,422	339,227
利息及び配当金の受取額	1,184	932
利息の支払額	△4,045	△3,929
法人税等の支払額	△34,334	△81,980
営業活動によるキャッシュ・フロー	422,226	254,249
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△50,000	△50,000
有価証券の償還による収入	50,000	50,000
有形固定資産の取得による支出	△181,929	△189,194
有形固定資産の売却による収入	1,703	80
無形固定資産の取得による支出	△11,665	△1,282
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
その他	△20,101	△21,094
投資活動によるキャッシュ・フロー	△211,998	△211,497
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	20,000	—
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△138,357	△147,516
自己株式の取得による支出	△27	△0
リース債務の返済による支出	△19,665	△26,702
配当金の支払額	△12,419	△24,801
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,469	△199,020
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,300	△4,791
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	162,058	△161,060
現金及び現金同等物の期首残高	950,567	1,112,626
現金及び現金同等物の期末残高	1,112,626	951,565

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、精密機器製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	523.09円	534.58円
1株当たり当期純利益	26.66円	17.80円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	166,402	111,975
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	166,402	111,975
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,241	6,289

(重要な後発事象)

該当事項はありません。